

トヤス沢本流(下降) 1985年8月3日
L

13:15下降開始。花崗岩質の岩のつらなる下りである。トヤス沢の流域はすべてこんな感じのようだ。ぐんぐん高度を下げてゆくのだが、滝は出てこない。これもまた平凡な沢である。

そのうち出てくるかもしれないと、むなしい期待を抱きながらドンドン下る。やがて右岸から土石の押し出した沢が合流する。このあたりまでくると、もう傾斜もゆるやかとなって、花崗岩の岩がゴロゴロするだけの河原をただひたすら下るだけとなった。

15:05林道が左岸に見えてきたので、沢から上がり、下降終了とする。
(記)

[タイム] 下降開始(13:15)→右俣出合(14:05)→下降終了(15:05)

十左衛門沢左俣 1985年8月3日
L

トヤス沢出合の幕営地から40分程林道を歩く。トヤス沢本流にそって奥にのびる地図には出ていない林道の橋から入谷。

ずっと花崗岩質の岩がゴロゴロした中を進む。15分で右沢出合。河原が続くだけでずっと滝は出てこない。ハズレの沢だと文句をいいながら左沢にルートをとって先に進む。

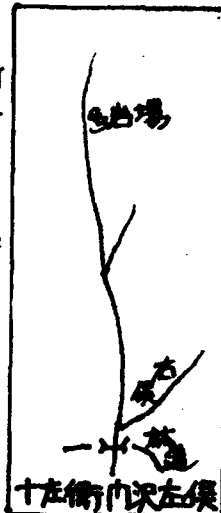
やがて右岸に小さな岩場が見えてくる。小休止していろいろ意見を交わしたが、どうもこのまま終わりそうだということになった。

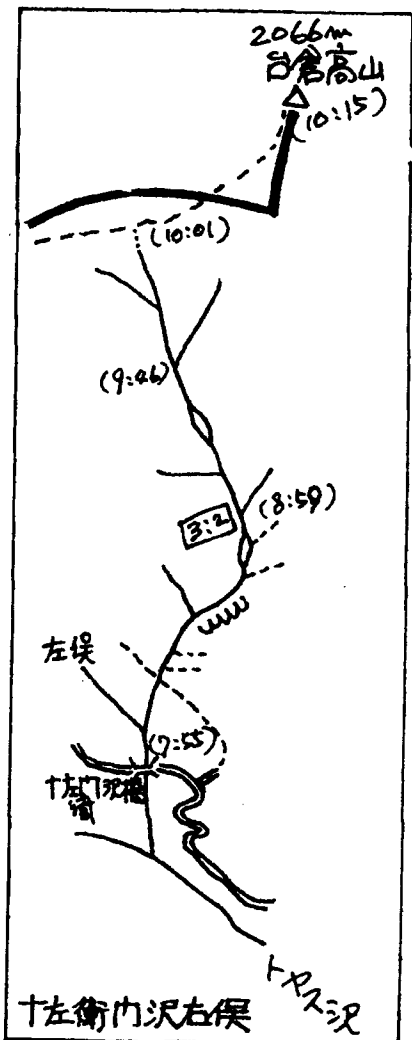
それでも、何とか滝が出てこないものかと先に進んだが、何もないままに源頭となり、カレ沢となって、最後はうすいヤブコギ10分程で2033m独標頂上に到着した。(記)

[タイム] 出合(7:55)→右沢出合(8:10)→沢終了(9:30)→稜線(9:40)

十左衛門沢右俣 1985年8月4日
L

トヤス沢左岸の林道を約1時間進むと、林道はやがてつづら折れに高度をかせぎ、三叉路となる。左に入るとすぐに十左衛





門沢橋がある。事前の調査では沢の名前がわからなかったのだが、橋の名前から沢名を特定することができた。

さっそく沢に降りて身仕度をする。沢はすぐ二俣となっていて、左俣に入る西・大西パーティと別れ、私達は右俣に入る。

この沢は、地図から見ても滝は期待できそうにないが、間違っってひとつぐらいあってもいいんじゃないかと思いつつ進行開始。

地図を確認しながら、最短コースで尾根に出ることに注意を払いながら進むが、ただの河原歩きに終始する。約2時間で登山道に出る。ヤブこぎも、そう苦勞することもなかった。台倉高山へは10分程で着く。(記・

[タイム] 出合(6:40)→右沢出合(7:55)→沢終了(8:40)→尾根(9:00)

馬中沢

トヤス沢支流無名沢

1985年8月4日

I

8:40下降開始。5分程でルンゼ状の流れに出、それについて15分

程下った所で本流に出る。本流の方を少し遡って見たが、何もない。「ああ、この沢もハズレか」と思いつつ、下降にかかる。

しばらく下ると、小さなナメが出てきた。「少し様子が違うぞ」と思っているうちに、目の前が切れ落ちて、15mの滝。右岸のブッシュを利用しながら下る。「この沢も平凡で何もないに違いない」と思いこんでいただけにすっかりうれしくなってしまった。

このあと更に4~5mの滝が二本出てくる。期待に反して(?)の滝だけに、騒ぎながら下り、10:10林道に出た所で下降終了とする。

(記

[タイム] 下降開始(8:45)→本流(9:00)→下降終了(10:10)

